



応援に来てくれていて嬉しかった」と語った。また、一次のレースに向けて、さらに練習を積み重ねて、より強い選手になれるように努力



巻き返しを見せる伊藤

きた。決勝
ではレース
中盤で関西
高校に力の
差を見せつ
けられた。
全国レベル
の高さを知
ることがで
きた」と話
した。

男子クオド
名将清水 采配ピタリ！

「おもしろいこと、してみんか」
あまり良いレースではなかった準々決勝のあと清水先生はこう言った。全体的な漕ぎのリズムをよくするためのシートチェンジの提案だった。今までこの形で漕いだことすらなく、完全なる賭けだった。初めての試みだったが、謎にいける気がした。清水先生の勘は必ず当たると確信していたからだ。そして挑んだ準決勝では、今まで上手いかなかったスタートが爆発的に良くなり二位で決勝進出となった。「これで戦える!」準決勝を終えてようやく全員が自信を持って、決勝では会心のスタートを切ることができた。

清水先生のコメント

春の選抜よりレベルが上ががり、人間の心結のタフさが、チームの結束力が改めて必要と感じた。三種目制覇を目指していたが、夏に勝つのは簡単じゃないと痛感した。伊藤は県内予選

の熾烈な戦いを制したことで成長した。二年生での優勝はよく頑張った。女子クオードはハラハラしたが、ラスト二〇〇mのスパートは見事だった。国スポは女子の全国三冠を目指す。男子は来年のインターハイ優勝を目指してほしい。

かるた部
背水の陣での快拳

七月二十七日から二十九日にかけて全国総合文化祭小倉百人一首かるた部門が香川県高松市総合体育館で行われた。福井県は予選では大阪に敗れたが、ワイルドカード枠で決勝に勝ち上がり、計七試合を勝ち抜き、全国三位という結果を残した。



全集中の片山（右）

私は高松市の過去から現在、未来について取材し、人の思いに触れることができた。（澤村）

全国の新聞部員たちのレベルの高い技術に触れ、大きな刺激を受けた。（竹本）

竹本眞子が参加した。全国の新聞部員が集まり班ごとに香川各所の名勝地を取材し、交流新聞を制作した。

七月二十八
日から三十日
にかけて全国
総合文化祭新
聞部門が香川
県善通寺市の
四国学院大学
で行われ、二
年澤村有紀乃、

紙面と格闘中

A photograph showing two students in school uniforms sitting at a table. The student on the left is a boy with dark hair, wearing a white shirt, looking down at a book or document. The student on the right is a girl with long dark hair, also in a white shirt, looking towards the same book. On the table are various items including a water bottle, a small container, and some papers. A black bag is on the floor next to the boy.

紙面と格闘中

新聞部
言葉で紡ぐ全国の輪



ローイング
王座奪還
女子クオッド&男子シングル優勝
広島ーH

八月一日から五日に広島県福山市芦田川漕艇場で全国高校総体ローイング競技が行われた。女子舵手付きクオドルプル（満田、江田、林、前田寧々、前田和泉）、男子シングルスカル（伊藤）が見事優勝を果たした。男子舵手付きクオドルプル（魚住、石丸、渡辺山田、中村）は準優勝、男子ダブルスカル（竹仲、山口）は準決勝敗退、女子ダブルスカル（金森、堂本）は準々決勝敗退となった。

圧巻のスパート 女子クオード

女子舵手付きクオ
ドルプルは半艇身の
リードを奪われてい
たが後半庄巻のスパ
イトで二位に一秒上
の差をつけ二年ぶり
に優勝を掴み取った。
満田美央さんは
「王座奪還を目標に
掲げて挑んだ大会な
ので達成することが
でき安心していろ
と振り返った。また
十月に開催される国
民スポーツ大会に向
け「国スポは十連覇
がかかっているの

34年ぶりの快挙！ 男子シングルスカル

男子シングルス
ルでは広島出身の伊藤大陽がこの種目で三十四年ぶりに優勝

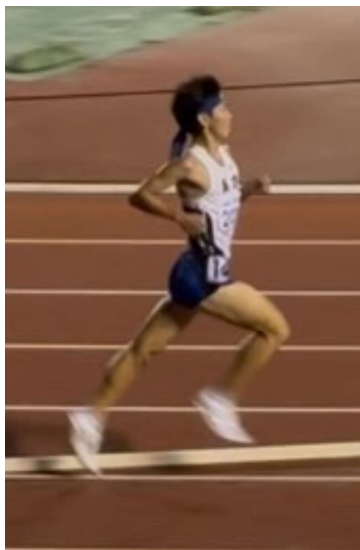


粘り強い漕ぎで勝利を掴んだ女子クオッド

陸上競技

真夏の激走

家光(1500m)・西野(3000mSC)



陸上部は、広島県城公園陸上競技場で開催されたインターハイ（七月二十五日～二十九日）に参加し、三年の家光応輔と西野寛太郎が出場した。今年は暑さ対策のため予選無しのため決勝となった。家光は一五〇〇m走で三分四八秒

を記録し、周囲の追いつけで後半順位は下げたが、自身のベストに迫る結果となった。西野は三〇〇〇m障害で九分一五秒を記録し、死力を尽くした。

西野は「初めの水濠でこけてタイムロスができてしまい、粘って走ったが目標に届かず

軽やかに走る西野

て悔しかった。長距離を走れるように体力をつけたい」と悔しさを胸に新たな決意を固めた試合前のルーティンとして西野はみたらし団子、家光はカステラを食べ、

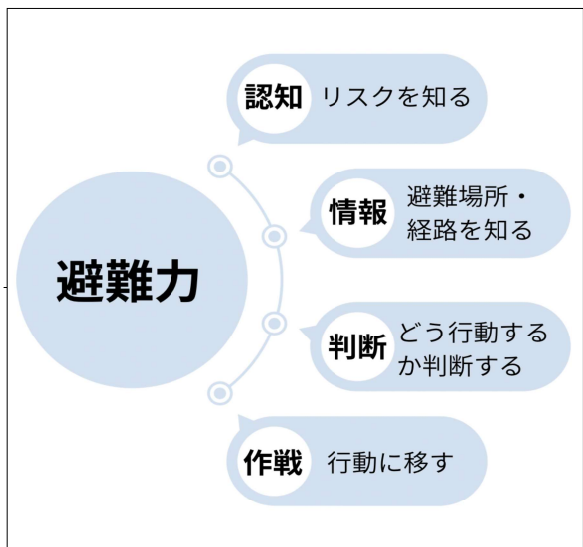
レースに臨んだ。

顧問の堀先生は「暑さ対策で急にスケジュールが変わってしまったのは残念。家光は入賞するレベルに状態を整えることができず、残念だった。西野は優しさがレースに出てしまっていた」と振り返り、「心の強さなどの課題を克服して駅伝に向けて頑張っていてほしい」とエールを送った。



迷將堀（本人談）

大震災から命を守る 今身につける“避難力”とは？



「まちの防災研究会」の理事長を務める松森和人さんは、人が死なないための防災を指して講演活動や防災マップ作成などの活動を行っている。松森さんは、生き残るためには「避難力」が不可欠だと語った。「避難力」には認知・情報・作戦・判断力があり、これらを目ざから意識しておく必要がある。

「私たちは今、まさに動くかもしれない地面の上で毎日を過ごしている」と言われたらあなたは信じるだろうか。私たちが暮らす嶺南地域には至る所に断層が走っている。今回新聞部は敦賀市の「まちの防災研究会」の理事長・松森和人さんと敦賀市危機管理対策課を訪ね、防災対策や避難力について取材した。

逃げられない？ 足元に走る断層

帰宅難民に？

もし美方高校にいた時に大きな地震が起きたら、その瞬間、私たちは自分の身を守るだけでないか、という問題に直面する。美方高校の場合、国道二十七号線や梅街道が災害の被害により通行止めになる可能性がある。その時、



熱心に語る松森さん

災害が発生した際、どのような対応が取られるのかその仕組みや課題について、敦賀市危機管理対策課の仲村さんと小部さんから直接お話を

十分な備えを

どの避難ルートが使えるのか、避難所はどこか、どこまで歩いて安全に移動ができるのか、家族とどう連絡をとるかが事前に知っているかが重要だ。



災害対策本部

三十年以内に七十パーセントの確率で発生すると予測されている南海トラフ大地震。地震の脅威は太平洋側にある都市だけでなく福井に暮らす私たちにも大きな影響を及ぼす。またいつどこでどのような

迫る！ 南海トラフ大地震

と仲村さんは語った。非常時に備えることの大切さを学び、あらためて自分自身の防災意識も高めたと思った。

生徒みんなが選ぶ！

夏うた総選挙

2025

- 「自助」
- ・非常持ち出し袋の用意
 - ・ハザードマップの確認
 - ・家具の固定
 - ・家族や身内との安否確認の方法
- 「共助」
- ・避難の声をかけをし合う
 - ・地域の防災訓練への参加
 - ・避難所の運営、開設の手伝い
 - ・災害ボランティア

項目	想定数値(最大)
死者数	約298,000人
災害関連死	約52,000人
建物全壊・焼失棟数	約2,350,000棟
避難者数(最大)	約12,300,000人
津波の高さ	最大20m以上
最大震度	震度7

内閣府のデータより新聞部作成



認に活用が可能。



も紹介されている。

命を守る！防災お役立ち情報

【重ねるハザードマップ】国土交通省が公開している、洪水や土砂災害、津波などのハザードマップをまとめて検索できるサイト。住所を入力するだけで、重ねて表示することができ。災害リスクの確認に活用が可能。

【おうち避難のためのマンガ防災図鑑】マンガとイラストでわかりやすく解説する防災本。停電や断水、トイレ対策など、在宅避難で役立つノウハウが掲載されている。身近なアイテムを使ったアイデアも紹介されている。

1位	青と夏 / Mrs.GREEN APPLE (67票)
2位	わたがし / back number (43票)
3位	打上花火 / DAOKO × 米津玄師 (39票)
4位	君と夏フェス / SHISHAMO (33票)
5位	SUMMER SONG / YUI (31票)
6位	君と羊と青 / RADWIMPS (19票)
7位	シーグラス / Saucy Dog (18票)
8位	マリーゴールド / あいみょん (12票)
9位	花火 / aiko (11票)
10位	花に亡霊 / ヨルシカ (9票)

7月に実施した「夏うた総選挙2025」には315票の投票があった。以下にランキング結果の発表と上位3曲を紹介する。

第1位はMrs. GREEN APPLEの「青と夏」(2018年)。映画「青夏 きみに恋した30日」の主題歌で、リリースから7年経った今でも夏の定番曲として愛されている。

第2位はback numberの「わたがし」(2012年)。「初めてのデートでどうやったら手をつなげるだろう」という甘酸っぱい思いを歌った1曲。

第3位は米津玄師とDAOKOの「打上花火」(2017年)。アニメ映画「打ち上げ花火、下から見るか？横から見るか？」の主題歌でビルボード・ジャパンのアニソンチャートで11週連続首位を獲得した。

曲を聴くだけで、その瞬間の景色や感情が鮮明に戻ってくるものだ。総選挙の結果を見ながら、夏の思い出を振り返ってみてほしい。

8/1

Culture Connect Camp

カルチャーコネクトキャンプ



参加者全員での集合写真

美方高校でオープニングセレモニーが行われた後、毎にジェスチャーゲームを楽しんだ。初めはみんな緊張していたが、ゲームを通じて徐々に打ち解け、最後は笑い声や歓声が飛び交っていた。

その後は班毎にバスに乗り、小浜市にある有形文化財GOSHONEN(護松園)や食文化館を訪れた。

(護松園)や食文化館を訪れた。江戸時代に北前船の商人が賓客をもてなすために建てた歴史ある建物だ。ここを運営している松本啓典さんから護松園がどのように再建されたかを説明いただき、その後は丁寧に手入れされた庭園を見ながらカフェタイムを楽しんだ。

食文化館では小浜の伝統工芸品である

八月一日、美方高校でC・C・C(カルチャーコネクトキャンプ)が行われた。このイベントには美方高校生の他にも、連携中学生や他校のA・L・T、青池学園の留学生の計六十名が参加し、英語での交流会や伝統工芸体験を楽しんだ。当日は六・七人で班を組み、小浜市にある指定有形文化財のGOSHONENや食文化館などを訪れた。



イングリッシュcafeタイム

フィリピン留学生の感想

My favorite part is making the chopsticks because I've never done this before. This event became good experience.

Thankfully, Japanese people helped us if we couldn't communicate. I had so much fun and I want to join Culture Connect Camp someday.



熱心なフィリピン留学生

TEACHERS' HISTORY

先生方の幼小中高の写真からエピソードをお聞きし、お名前は伏せてクイズ形式で紹介していきます。正解は先生に直接尋ねてみよう！



豆まきをしている時の写真です。この頃の私は、三月生まれだったこともあり成長が遅かったと思います。

節分に大きな声で豆まきをしている時の写真です。この頃の私は、三月生まれだったこともあり成長が遅かったと思います。



この写真は、お昼寝後でムチャクチャ機嫌の良い時の写真だったと思います。この頃、私は人見知りでした。虫な性格だったらしいです。仮面ライダーやウルトラマンなどのヒーローが好きで大きくなった自分もなれると信じていました。

この写真は、お昼寝後でムチャクチャ機嫌の良い時の写真だったと思います。この頃、私は人見知りでした。虫な性格だったらしいです。仮面ライダーやウルトラマンなどのヒーローが好きで大きくなった自分もなれると信じていました。



四才頃の時、保育園のジャングルジムで撮った時の写真です。この頃の私は好き嫌いが多く泣き虫だったそうです。天気の話が好きで友達に台風1号が一番弱くて数が大きくなるほど強い台風になると自信満々に教えていました。保育園に

四才頃の時、保育園のジャングルジムで撮った時の写真です。この頃の私は好き嫌いが多く泣き虫だったそうです。天気の話が好きで友達に台風1号が一番弱くて数が大きくなるほど強い台風になると自信満々に教えていました。保育園に



保育園の時、ドラえもんが大好きでドラえもん音頭を踊っていた時の写真です。この頃の私はさっぱりした性格で、男児関係なく遊んでいました。探検が好きで近所の家と家の間に侵入したりして、この路地がどこにつながっているのか知ることにはハマっていました。

保育園の時、ドラえもんが大好きでドラえもん音頭を踊っていた時の写真です。この頃の私はさっぱりした性格で、男児関係なく遊んでいました。探検が好きで近所の家と家の間に侵入したりして、この路地がどこにつながっているのか知ることにはハマっていました。

勝手にキャプション

このコーナーでは写真部が撮影した写真に新聞部が勝手にタイトルを付けます。皆さんも写真からイメージを膨らませ、自分なりのタイトルを考えてみてください！



タイトル
【花より屋敷】
(撮影者 音海さん)



タイトル
【ジツとしてたら置物になっちゃうん】
(撮影者 納谷さん)

編集後記

一六七号を読んでいた皆さんがとうございませう。今回は、美高祭や部活動の大会、CCC、地震、夏うたの特集などを取り上げました。特集では、地震防災について取材しました。まずは家周辺のハザードマップを見てみてください。今日から始まる美高祭、一人ひとりが輝けるように全力で楽しんでいきましょう。